

(任意) 北の里浜 花のかけはしネットワーク

東日本大震災被災地の海浜植物の 地域交流によるレスキュー活動

ひろげる助成

3年目

実践

北海道で1000株の
苗を育成する

1,200株

3か所/年で
植栽交流会を実施する

3か所

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

100%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

被災地における活動の主体となる町内会やNPOなどとのネットワークの構築や関係づくりを持続的にやっていくこと。

■工夫した点

被災地への想いを色褪せないものとするため、そして学び合いや心のふれあいを目的として双方の市民による交流会を併せて実施。



2018年5月アマモの移植会の様子

課題

自立的に修復しつつある砂浜や湿地、海岸林が、大規模かつ急激な盛土によって埋め立てられるなど「減災・防災」と「自然環境の調和」が図られていないのが現状であること。

目標

広域ネットワークによる苗育成や植栽活動を通して、海浜植物の重要性や多面的機能を行政や地域住民に普及啓発し、その活動を通じて防災や減災について学びあう。

活動内容と成果

海浜植物のレスキュー活動として集めていた種子を北海道内で中学生及び市民、企業の手を借りて約1,200株を育苗し、宮城県及び岩手県内の適地3か所及び隣接する仮植地へ約1,500株を、双方の市民のべ150人によって行った。6月の仙台では植栽交流会の前にフォーラムを開催し各地からの報告・交流を行った。札幌市で計3回、被災地から人々を招いてダイアログカフェを開催し、現地での活動の経過などを語っていただき意見交換を行った。



6/22ダイアログカフェの様子



札幌市内で企業と連携した苗づくり活動

全助成期間の活動を振り返って

被災後の現地での活動が困難であったことから広域ネットワークによってスタートし軌道に乗ってきており、被災地の復興に伴って次世代を担う地元の小中高등학교との活動も実現し始めてきた。今後さらに連携して育苗・植栽活動を継続することで、海岸地域の生態系についての環境・防災教育を継続して行うとともに、地元が主体となった持続的かつ自立的な取組みに発展していくことが期待される。

活動地域 | 北海道、宮城県、岩手県

〒006-0003
北海道札幌市手稲区西宮の沢3-1-11-35-103
<https://hamahirugao.jimdo.com/>



今後の
展望

構築されたネットワークをもとに、各々の地域の学校や活動団体との協働を進め、自主的な活動となるように進めていく。また持続性を支えるため、関係機関の事業として実施できるよう提案などとして、継続的な実施を可能にする仕組みづくりや賛同者を増やして資金を確保することや企業との協働をはかる。また被災後の市民参加による海浜植生復元をととした継続的な環境教育と防災教育のモデルを構築し、他地域への普及を進めていく。